

都公退連合会報

発行所
東京都公立学校退職教頭・副校長会
連合会 会長 前川 法久

〒183-0053
東京都府中市天神町2-13-7
電話 042-363-7673



東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会

～連合会の活性化に向けて～

◎ 都教委への要請活動を通して ◎

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会
会長 前川 法久

昨年12月20日午後5時から1時間、三年ぶりに都教育庁会議室で対面による都教委への要請活動を実施いたしました。今回は、コロナ禍とは言え、新型コロナ感染数がまだまだ多いが、徐々に落ち着く方向に向かい始めました。要請書を事前に都教委へお渡しし、要請日時を都教委に一任して実現致しました。都教委（総務部・人事部・指導部・地域教育支援部の計12名）も本会の要請に対して各担当より誠意を持って対応顶けました。退職・現職副校長・教育一般事項の要請事項に都側が現在までに実施していることがらや今後の予定事項などの回答が口頭であり、都教委側の意向を知ることができました。都側の説明をお聞きして都側の努力している様子を理解致しましたが、いま一步踏み込んだ具体的な状況・実施の成果や効果などが気になりました。実施した側の思いと受けた側の効果が分かれば更に良かったと思います。現場の実態は改善された実感があるかを知りたいところです。具体的な質疑は時間不足もあり、今後の課題として残りました。

今回の要請活動を通して、要請事項を更に具体的に表現することにより現実味がより鮮明になると感じました。要請事項の更なる具体化には、本会の日常活動を盛んにすることにあると確信しております。小・中・高の各会員が喫緊の教育課題を掘り下げ、相互に意見交換を重ねる機会を増やし、共通課題を洗い出すことが不可欠です。本会としての行事・小中高部会の各行事などの活動の折には、相互に連絡を密にして互いに参加して共通項目の深掘りを図り、本会を活性化させていくことがカギに成ります。例えば、講演会、教育相談会、進学相談会、会員へのアンケートの作成・送付・集計などは如何でしょうか。

昨年8月に実施した本会のアンケート集計によると、本会の活動に対して会員の特に強い要望として「会員の趣味を生かしたクラブ活動を盛んにしたり、会員の関心事の講演会などを開いたりして会員相互のコミュニケーションを深めたり、教育現場の支援を盛んにしたりすることのご意見が多数寄せられました。教育支援として、「現職副校長の支援」の要望が特にあり、教育現場の多忙さの解消がまだまだであることが指摘されました。現場の実態をしっかりと理解するためにも本会与現職副校長の交流を深める必要を実感致しました。教員不足・クラブ活動指導員の外部移行など難問続きですが、本会が支援できるところを明確にして支援し、教職の魅力を取り戻し、「教職の魅力」を高めるために努力を積み重ねていく所存です。

定年退職したとは言え、元気な会員がまだまだいらっしゃいます。「活力の使い方・使う場所」を多くの方が模索しています。定年退職者を単に安価な労働力と見なすのでは無く、経験豊かなスペシャリストとしての対応が有れば、必ず人は集まります。定年退職後の仕事など活力の生かし方に思いを巡らす人のご意見を大切に致します。是非、ご一報下さい。

連 合 会 と は ・ ・ ・

『連合会（略称）』は、およそ30年の歴史を持つ組織です。

スタート時は？

退職後の処遇（年金・退職金の削減反対等）に関して、それぞれの部会が、現職教頭の処遇向上等も含め、個別に都教委へ要請していました。小学校部会と都立学校部会が連携を深めた時、中学校部会に声掛けが行われ、中学校会員の有志が参加し『連合会』を名乗ることとなりました。

ここに、校長会にも無い、特色ある『異校種連携』が生まれました。

『連合会』は、

- 1、東京都公立小学校退職教頭・副校長会
- 2、東京都公立中学校退職教頭・副校長会
- 3、東京都立学校退職教頭・副校長会

の3団体が、『東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会』という名のもとに、教育振興の為の諸活動をしています。

『連合会』は、三つの視点を持っています。

- 1、自分たち自身を見つめる眼。
退職後の生活が豊かなものであるように。
職責を果たしたことが、公に、認められるように。
- 2、後を継ぐ者たちを見つめる眼。
職務に専念できる環境が整えられるように。
公教育の担い手として責任を果たせる力を身につけるように。
- 3、子どもたちを見つめる眼。
『生きる力』をきちんと身につけられるように。
『いじめ』や『貧困』にさらされることの無いように。

『連合会』は、『役に立つ会』でありたい。

会員にとっては・・・情報交換が役に立つ集まり。

会うことが楽しい集まり。

社会に対しては・・・経験を生かしたボランティア活動。

機会を生かした発信活動（教育を語る）。

校種を越えた貴重な出会いの場。これからも繋がり続け、新しい人脈が生まれる場であって欲しい、と願っています。

これからの連合会を考える視点は。

変化を受け入れつつも、公教育の危機を感じる今、『異校種』が交流できる貴重な場を失いたくはないと思います。

- ① 自身の生活を守るために、どんな活動が出来るのだろうか。
- ② 学校教育を守るために、どんな活動が出来るのだろうか。
- ③ 子どもたちを守るために、どんな活動が出来るのだろうか。
- ④ 組織の維持発展や若返りは、どうすれば可能なのだろうか。

また、「公教育の危機」のうち、少子化によってもたらされる危機は、解決が遠いけれど、『いじめ』『不登校』『格差』については、このままで良いのかと、大声を張り上げなくとも、連携し、機会を捉えて、誠実に、訴え続ける集まりでありたいと思います。

（文責 山浦 朝日）

1 令和3年度

行事報告

要請活動と新年会以外は14:00～16:00 弘済会会議室を使用

令和3年度行事の報告

令和3年	6月7日(月)	総会準備のための原案検討 中止
	6月22日(火)	定期総会 中止
	9月10日(金)	要請文検討会 中止
	10月29日(木)	東京都教育委員会へ要請活動(文書のみ提出)
令和4年	1月22日(土)	連合会新年会 中止
	3月14日(月)	年度の反省と次年度予定の作成 中止

令和3年度 決算報告

単位：円

収入の部	金額	摘要
前年度繰越金	53,662	
令和3年度分担金	15,000	5,000×3部会
研究助成金収入*	500,000	HP開設維持、連合会報、研究費他
収入額合計(W)	568,662	
支出の部	金額	摘要
本部連絡費	482	郵送費
部会内連絡費	6,000	2,000×3部会
都庁要請活動費	0	コロナの影響で中止のため
研究助成金支出	500,000	HP開設・維持、連合会報、研究費他
支出額合計(X)	506,482	
残高(W-X)	62,180	
次年度繰越額	62,180	

【凡例】*印は、日本教育公務員弘済会から教育研究活動の助成を目的として交付されたもの。
上記の通り、報告いたします。

令和4年3月31日
連合会会計 大根田芳明 印

2 令和4年度

行事予定

要請活動と新年会以外は14:00～16:00 弘済会会議室を使用

年間行事(案)

令和4年	6月7日(火)	総会準備(原案作成)
	6月21日(火)	定期総会
	9月13日(火)	要請文検討会
	11月中を目途にして	要請活動(都教委へ)
令和5年	1月28日(土)	連合会新年会(13:00～)予定
	3月14日(火)	年度反省、次年度予定作成

令和4年度 予算(案)

令和4年4月1日

単位:円

収入の部	金額	摘要
前年度繰越金	62,180	
令和4年度分担金	15,000	5,000×3部会
研究助成金収入*	500,000	HP維持、連合会報、研究費他
収入予定額合計(Y)	577,180	
支出の部	金額	摘要
部会内連絡費	6,000	2,000×3部会
都庁要請活動費、本部連絡費	10,000	
会議室借用料#	8,000	2,000×4回
研究助成金支出	500,000	HP維持、連合会報、研究費他
支出予定額合計(Z)	524,000	
残高予定額(Y-Z)	53,180	
次年度繰越予定額	53,180	

【凡例】*印は、日本教育公務員弘済会から教育研究活動の助成を目的として交付されたもの。

#印は、会議室として都教弘会館4階(50人規模)を借用。(有料)

「新年会」は、その都度決済し、残高は会費に繰り入れる。不足時は、会費で充当する。

今年度の実践活動

保護者との教育懇談会報告

日時： 令和4年6月17日 午後3時から4時
 場所： 八王子市立由井中学校
 主催： 東京都立学校退職教頭副校長連合会主催
 参加者： 保護者17名、校長、学年主任教諭、退職副校長 3名
 テーマ 1 「中学生保護者として心配なことは何か。」

3学年保護者からは、高校入試に関することが挙げられました。その中で、子どもとの会話が成立しないので心配である。この時期は、子どもの夢を大切に、好きな科目を見つけ出すことも必要ではないかの意見がありました。

テーマ2 「学校の部活動を地域に移行することについて」

保護者としては、学校外のクラブに加入すると予算がかかることが心配である。指導者問題としては、練習のやり過ぎが心配である。学校の部活動ではなく、学校外のクラブに所属させることも多くなるのではないかと。学校としては、予算の問題など、教育委員会からの具体的な指示は受けていない。

テーマ3 「デジタル化や情報化で気になることは」中学生には、スマホを持たせるべきではないという意見がありました。学校には、スマホを持ってこないように指導しているが問題も起こっている。不正に加工された情報が流れているので、学校では、情報への安全教育が必要である

テーマ4 「お子さんに期待していることは何か。」

しっかりと学習への習慣をつけるために、夏休みに計画的な生活をする必要がある。親は、子どもに多くのことを期待しているが、出来るだけ口出ししないで子どもを見守ることも必要である。

その他

高校入試の推薦入試で、不合格になった場合の子どもへの接し方を知りたい。不登校気味の子どもがいるのでその対策を教えてください。子どもの自立を促すために、自己理解を深めさせる必要があると、子どもの長所を見つけてやってほしい。このような保護者との意見交換は、中学校だけではなく、小学校や都立高校においても必要である。

子どもの年齢の違いにより、保護者の学校への希望も違っており、連合会の重要な事業となっている。



都立高校推薦入試指導の取り組み

連合会では、都立高校部会が中心となり、毎年都内中学生の都立高校推薦入試のための作文・小論文や個人面接の指導を行っています。

一つは、12月下旬から1月上旬にかけて、塾と連携して作文と面接指導の講座を担当しています。都内7か所、約300名の中学生に指導しています。

もう一つは、八王子市立由井中学校PTAと連携して都立高校入試指導を行っています。由井中学校では、6月に保護者対象の進路対策講演会と1月に推薦入試受験者の模擬面接会が開催されています。

このような取組の成果もあり、由井中学校では、他の中学校を上回る都立高校推薦入試合格者を出しています。このような由井中学校PTAの取り組みが認められ、令和4年度文部科学大臣表彰を受けています。



<八王子市立由井中 PTA だより 第2号より>

初めての賀詞交換会開催

連合会行事として毎年行われていた新年会は、オミクロン感染症の影響もあり、中止となりました。そこで、今年は、賀詞交換会を開催し、情報交換を行いました。

日時 令和5年年1月29日（日） 午後1時から3時

場所 世田谷ボランティアセンター

参加者 9名

内容

- 1 参加者自己紹介
- 2 令和4年度要請活動の報告と反省
- 3 令和4年度アンケート結果の報告と検討

4 その他

今年の賀詞交換会では、教員不足の問題が多いなテーマとなりました。都教委も教員を増やすことに取り組んでいますので、連合会としても新しい取り組みとして教員を育てる取り組みを検討したいと思います。



連合会主催の講演会開催

テーマ； 定年退職後の生き方について—ウエルスマネジメントをご存知ですか—

日時 令和5年年2月19日（日） 午後1時から3時

場所 世田谷ボランティアセンター（三軒茶屋）

講師 山川美紀

みずほ証券 横浜支店 ウエルスマネジメント1課 課長代理

講演内容

- 1 ウエルスマネジメントとは
- 2 「幸せな人生」の過ごし方の価値観の変化
- 3 資産価値を守る方法とは
- 4 定年後の幸せな人生とは



「セカンドライフについて考える本」を資料として、定年退職後にやりたいことや年金、介護などの生活資金から日本経済の中での生き方について話がありました。さらに、日本をはじめとして国際的な経済状況や金融市場の説明がありました。また、参加者からは、現在の生活状況の厳しさや不安についての意見が出されました。

今回は、新しい試みとして、話を聴くだけの講演会ではなく、視聴者参加型の講演会が行われ、活発な意見交換が多い有意義な会となりました。

令和4年度研究報告

テーマ「連合会の現状と課題」

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会
東京都立学校退職教頭・副校長会 大河内 保雪

1 はじめに

コロナ感染症が終息しない中で、東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会（以下「連合会」と略す）は、東京都の教育への支援や会員の多様な活動により社会貢献活動を行っています。

そのような状況の中で、教員の65歳定年制が実施される予定となり、60歳以後の東京都立学校副校長の身分や活動状況は、複雑となってまいりました。そこで、今年度は、退職教頭・副校長の生きがいや不安、連合会事業や親睦の課題や問題点について、アンケートを実施しました。

2 研究方法

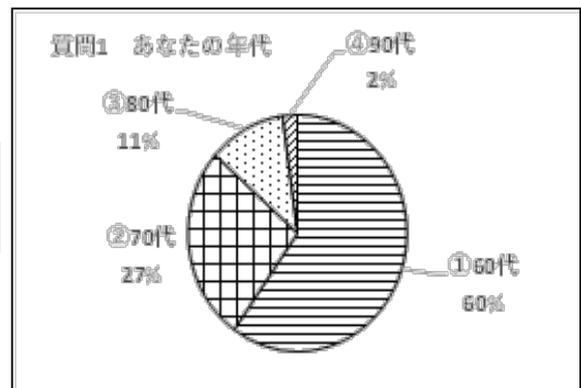
2022年8月から9月にかけて会員へのアンケートを実施

回答数 229名（内訳：小学校部会 85名、中学校部会 106名、都立学校部会 41名）

3 アンケート結果（アンケート用紙は、資料に掲載）

質問1 「あなたの年代は、・・・」

	①60代	②70代	③80代	④90代	計
回答数	137	61	26	5	229
%	59.8	26.6	11.4	2.2	100



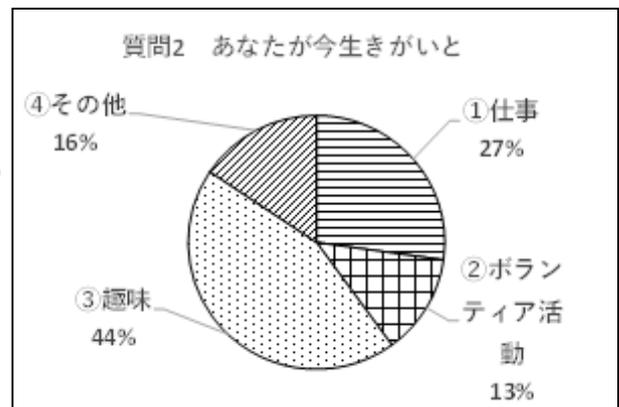
□年齢構成比は、部会別によって、かなり異なる。
(資料1-1参照)

質問2 「あなたが、今、生きがいとされていることは、・・・(1つだけ)」

	①仕事	②ボランティア活動	③趣味	④その他	計
回答数	68	32	111	39	250
%	27.2	12.8	44.4	15.6	100

□ 趣味：44.4%、仕事：27.2%、ボランティア活動：12.8%…

「趣味」が圧倒的に多い。次いで多かったのが「仕事」であるが、部会別で傾向が違う。(資料1-1を参照) 年齢構成と関連するからであろう。



質問2の各回答の具体的な内容…小学校

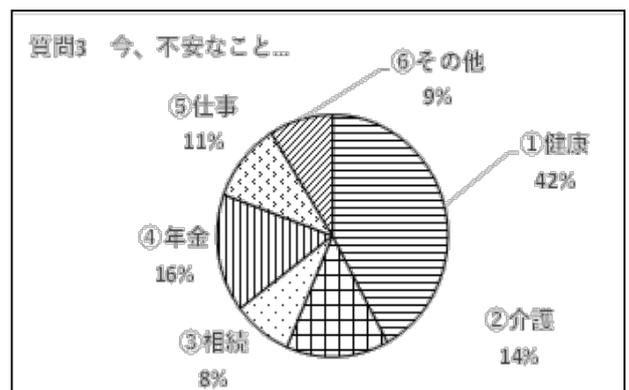
	①仕事	②ボランティア活動	③趣味	④その他
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 若手教員育成指導 再任用副校長 特別支援教室 非常勤教員 非常勤講師 学校管理職補佐 教育センター 心理士 幼稚園送迎バス 産休代替 小学校主任教諭 小学校 	<ul style="list-style-type: none"> 赤十字奉仕団員 町会、地域会活動 小学校支援員 読書ボランティア 学習支援 団体活動参加 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ（テニス、水泳、ウォーキング、フィットネスなど）・旅行・読書 鑑賞（映画、音楽、美術、バレエ、ミュージカル） 教養（楽器演奏、茶道料理、クイズ、合唱、書道、手芸、俳句など） 野外活動（散歩、野鳥の写真撮影、自然や鉄道の撮影、天文、自然観察、ガーデニング） 	<ul style="list-style-type: none"> 晴耕雨読 自由な時間 回想、回顧録、エンディングノート 家族との時間、孫の成長・地域の活動参加 介護 郷土史資料集作成
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 都、区関係 適応指導教室・特別支援 学校時間講・教育センター 学力向上推進（英語など） 教育委員会（相談活動など） 学校関係、副校長補佐 スクールサポート・部活の支援・時間講師 令和6年開校の小中一貫教育カリキュラム検討 65歳まで副校長の仕事続ける 地域・保護司・自営業 植木の剪定・農作業 	<ul style="list-style-type: none"> 学童クラブ・老人クラブ活動 学校や地域の支援活動 出前活動・町会役員 趣味を生かした地域 学校支援（ゴルフ、農作物の手入れ、鉄道、写真、読書、クラシックギター） 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行・読書・スポーツ（ゴルフ、野球、ランニング、水泳、山歩き、釣、スキー、アウトドア） 天体望遠鏡・工作 ラジコン飛行機操縦・囲碁 麻雀・パズル・パソコン 語学（英語、中国語、韓国語、国語）・園芸・朗読・俳句 教養（観劇、絵画） アートフラワー 音楽関係（クラシック、コンサート、ピアノ、フルート、コーラス、作曲） 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長など 家庭菜園 健康維持 目標ある生活 社会参加 介護 余暇活用 迷惑をかけない なぜか不安で生き甲斐が分からない 研究、執筆活動 日常を平穏に送る。
都立学校	<ul style="list-style-type: none"> 部活の支援・時間講師 教職員とのかかわり 小学校児童の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の支援（部活動など） 町会・自治会・環境保全 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行・ドライブ・読書 スポーツ（ゴルフ、テニス、登山、スキー） 囲碁・音楽・箏曲・グルメ 	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ役員

質問3「あなたが、今、不安なことは、・・・(2つまで)」

	①健康	②介護	③相談	④年金	⑤仕事	⑥その他	計
回答数	147	50	29	55	37	31	349
%	42.1	14.3	8.3	15.8	10.6	8.9	100

その他	小学校	戦争の脅威・物価高・災害（地震など）・国政
	中学校	特になし（6名）・体力の低下・家族の健康 ・66才以後の仕事・人間関係 ・将来の収入、生活費・老後
	都立学校	老後資金・国政、国際情勢・仕事の調整

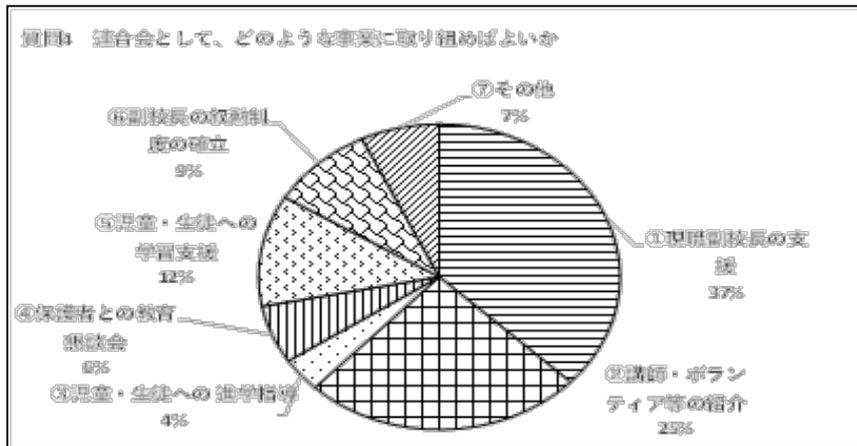
□ 健康が42.1%で、多くの会員が健康に不安を抱いている。連合会への要望の中に健康相談が多かったこともあり、関心の高さがうかがえる。



質問4 「連合会として、どのような事業に取り組みれば良いと考えますか。(2つまで)」

	①現職副校長の支援	②講師・ボランティア等の紹介	③児童・生徒への進学指導	④保護者との教育懇談会	⑤児童・生徒への学習支援	⑥副校長の叙勲制度の確立	⑦その他	計
回答数	132	89	13	22	42	33	25	356
%	37.1	25	3.7	6.2	11.8	9.3	7	100

その他	小学校	・学校間の情報交換・副校長の叙勲制度への要請行動・様々な分野での研修会開催・生きがいのある生活の確立に向けて・教弘会の部屋を月1回くらい開放していただき、コミュニケーションの場を作る・啓発活動・東京都に教育行政への意見や要請をする。
	中学校	・家族との生活・家庭菜園・健康に気を付けて生き抜く・中山道、ハイキングツアーに参加等目標のある生活を送る・自分の子供と野球観戦・社会参加・介護、読書、息子の成長・余暇を楽しむ・迷泌をかけないような毎日の生活・余暇を楽しむ・社会参加(人権擁護委員活動)・なぜか不安で生き甲斐が分からなくなりました。・研究、執筆活動・修士論文を書くための研究活動・日常をつつがなく暮らしていけること
	都立学校	・都立高発展のため・講演会・福利厚生・部活外部指導員の確保・現任教員の研修時間の確保・会員向け研修会の実施=会員のスキルアップを図る。・処遇改善・生徒の問題意識の啓発



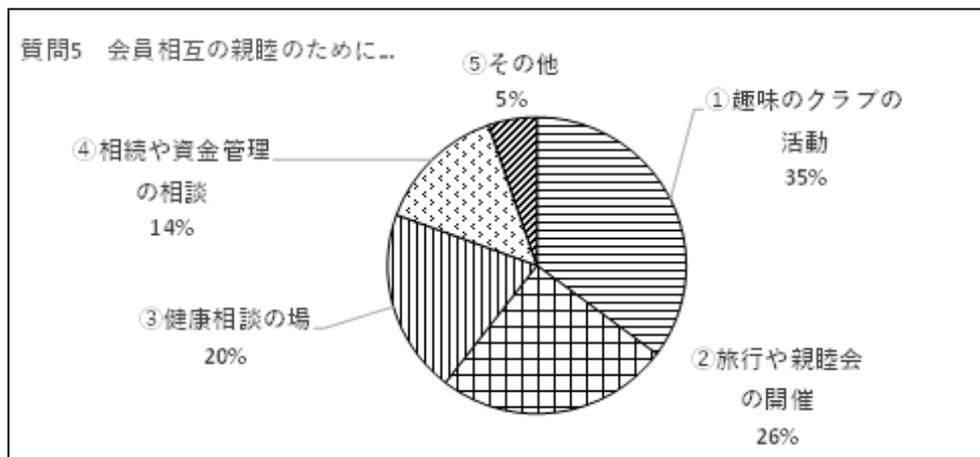
□ 様々な意見に分かれた。現職副校長の支援31.7%、講師・ボランティア等の紹介25.0%、児童・生徒への学習支援11.8%が上位3つの意見である。

現在教育が抱える問題を会員が理解し、その解決のための方策を期待しているか。

質問5 「連合会として、会員相互の親睦のために、どのようなことを企画すると良いと思いますか。(2つまで)」

	①趣味のクラブの活動	②旅行や親睦会の開催	③健康相談の場	④相続や資金管理の相談	⑤その他	計
回答数	114	82	65	46	17	324
%	35.2	25.3	20.1	14.2	5.2	100

その他	小学校	・学校との関わり、ボランティア内容、仕事内容等の情報交換 ・HPの活用
	中学校	・副校長の待遇改善・子供の居場所づくり・時間講師のハラスメント ・一人でも多く校長昇進を願う ・現職者への支援、研修・退職副校長の親睦・横の連携・新たなキャリアに進むためにどうすればよいか。・教育現場の支援(報道等ではなく)
	都立学校	・サロン活動・現職への応援・LINE等で会員間の意見交換の場を



- 趣味のクラブの活動 5.2%、旅行や親睦会の開催 25.3%で、合わせると6割強であった。健康や年金などの相談活動を要望する意見も多いが、日常的な、趣味や特技を生かした「楽しみ」の場を提供してほしいという意見が最も多いといえる。

質問6 連合会への要望や意見 (小学校)

小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・定年延長による会への影響の有無・インターネットを通じて会員相互の交流を行う。・連合会のことを知らない人が多いので、広く知らせていく工夫を要望します。・現役副校長（例 再任用、フルタイム）が担任教諭の欠員（産育休、病休）による補充に入ることが多い。この状況を改善してほしい。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場を支えるための具体的な動きができる組織になると有難い・平和のために連合会でも話し合えばいい・都教委や文科省へのテーマごとの提案活動（例オンライン授業、パソコン授業と教科書使用の是非）・副校長で終わるとその先は降格しかないのでしょうか。副校長以外の再任や別のキャリアに行ける道はないのでしょうか。 ・教育現場の生の声がかきたい（報道等ではなく）・連合会の活動に感謝いたします
都立学校	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する教育相談活動・退職後の人生を充実させるための支援という観点・現職副校長の希望要望を聞き都教委に要請 ・会員のクラブ活動を合同でやる・情報交換をより密にし、親睦を図る・教育現場の雑務解消のための具体策検討・教員免許更新制度廃止や部活動外部指導員への移行にともなって、副校長がさらに多忙となることがないように・行政と連絡懇談の機会をもつ・対都教委への働きかけ、情報の発信・小中高の情報共有・会員の不安や悩みを解決する方策を考え、取り組む（会員の生きがい実践例を発表、文書にまとめる。）・研修やイベントなど連合会が会員に直接働きかけ実行する。・会員の増加

4 考 察

1) 回答者の年齢構成について

部会により違いが大きく、小中学校部会では60歳代が多くなっている(84%)が、都立学校部会では、70歳代が36.6%となっている。(資料1参照)部会による年齢構成の違いが大きい。

2) 会員の生きがいについて

退職後の生きがいとしては、趣味が44.4%となっている。また、仕事の割合が27.7%と比較的大きな割合となっているのは、回答者の年齢が、60歳代が半数以上であるためであろう。

3) 会員の不安なことについて

健康への不安が、42.1%、年金が15.8%であり、日々の生活への不安を持っている。4割強の会員が健康への不安の訴え、年金など生活費への不安もある。

4) 連合会の取り組むべき事業について

現職副校長への支援が、37.1%であり、学校現場を心配する声が多い。また、講師やボランティア等の紹介が25%であり、働く意欲や社会とのかかわりを持ちたいと思っている。児童生徒への学習支援が11.8%となっている。このように、全体として副校長や児童生徒等への支援への斡旋を期待している。

5) 会員相互の親睦について

会員の趣味やクラブでの親睦が、35.2%であり、旅行や親睦会の開催も25.3%となっている。今後のコロナ感染症の動向をみながら、会員がコミュニケーションを深められる活動を行う必要がある。また、健康相談や相続などの講演会も求められている。

6) 連合会への要望や意見について

本会の認知度が低いという意見があり、本会の活動内容が知られていないようである。現職副校長との交流や活動を通じて、本会の活動の周知に努めると共に、ホームページの充実や活動内容の広報活動が必要であろう。

5 今後の課題

1) 65歳定年制実施に伴う会員数の問題について

65歳まで再任用や非常勤講師などの仕事に就く教員が多く、都立学校部会では、60歳以後の教員の動向が個人情報保護などにより、連絡が取りにくい状況にある。このことが、会員数の減少に拍車をかけている。新会員確保に向けた取り組みは、今後の課題として重要である。

2) 現職副校長への支援や交流について

質問4「連合会として、どのような事業に取り組めば良いと考えますか。」の回答では、実に37.1%の方が、現職副校長の支援と考えている。その背景を考えると、「コロナ感染症への対策により、この3年間で副校長の職務が増大し、多忙を極めている。副校長補佐の配置などが進んでいるが、副校長の多忙化解消には至っていない。」がある。さらに、教員希望者の減少が続いていることもある。不足教員を非常勤講師で補っている状況で本来教員のやるべき仕事までもが副校長が対応している現状がある。連合会としては、東京都教育委員会への令和4年度要請文にこのことを盛り込む予定である。さらに、学校・授業見学等を通して、現副校長との交流の場を作ってゆくことも取り組んでゆく。

3) 会員間の相互交流・情報共有について

質問4,5の回答内容から、会員間の相互交流を望む声は多く、「オンラインによる会合の実施」、「クラブ活動を通して親睦を深める」、「講演会の開催」など様々な意見が寄せられた。

コロナ禍の中、インターネットを利用したメールやオンライン会議での情報交換が進んでいる。実際に、9月には、連合会役員間で、zoomによる会議(情報交換会)を開くことができた。しかし、まだまだ、不慣れな会員もいるために、幅広く普及してゆくために一層の工夫が必要である。

対面での交流(親睦のための旅行、クラブ活動)は、多くの会員が望んでいることであり、コロナ感染症の状況に配慮しながら、実施に向け検討すべきであろう。

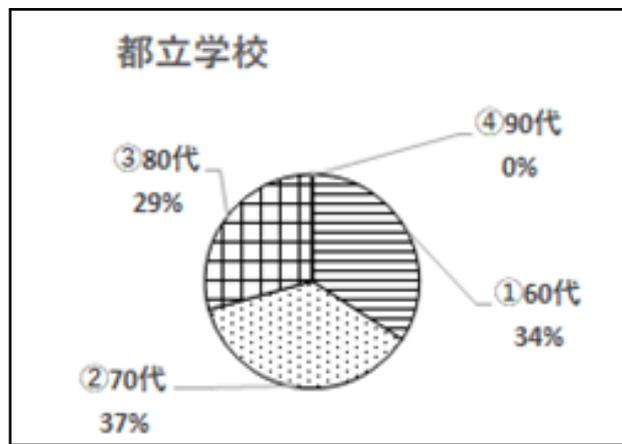
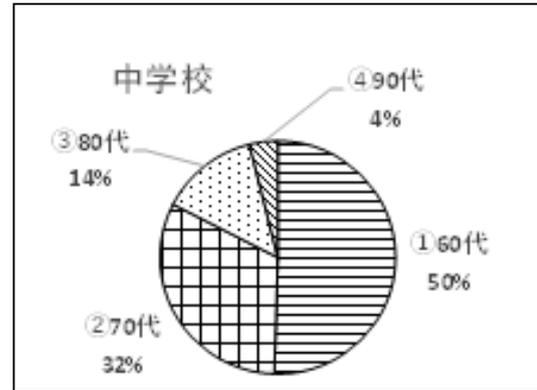
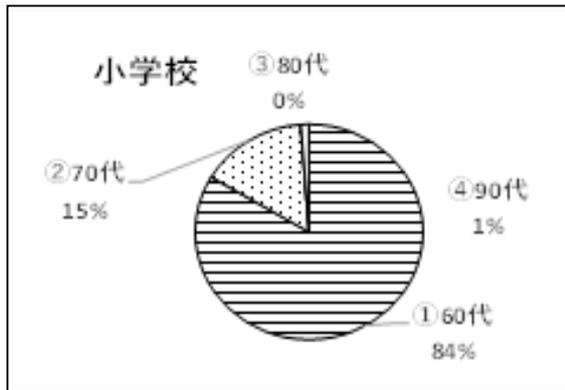
4) 時代に対応した本会の活動について

新学習指導要領の実施による探求型授業の実施、部活動の地域への移行、都立高校入試での英語スピーキングテストの実施など、東京都の教育課題に対応した取り組みが期待されている。

資料1-1 部会別アンケート集計

質問1 「あなたの年代…」

		① 60代	② 70代	③ 80代	④ 90代	計
回答数	小	71	13	0	1	85
	中	52	33	14	4	103
	都	14	15	12	0	41
	計	137	61	26	5	229
百分率	小	83.5	15.3	0	1.2	100
	中	50.5	32	13.6	3.9	100
	都	34.1	36.6	29.3	0	100
	計	59.8	26.6	11.4	2.2	100



質問2 「あなたが、今、生きがいとされていることは、・・・(1つだけ)」

		①仕事	②ボランティア活動	③趣味	④その他	計
回答数	小	29	8	39	9	85
	中	29	19	50	22	120
	都	10	5	22	8	45
	計	68	32	111	39	250
百分率	小	34.1	9.4	45.9	10.6	100
	中	24.2	15.8	41.7	18.3	100
	都	22.2	11.1	48.9	17.8	100
	計	27.2	12.8	44.4	15.6	100

資料1-2 部会別アンケート集計

質問3 「あなたが今不安なこと・・・(2つまで)」

		①健康	②介護	③相続	④年金	⑤仕事	⑥その他	計
回答数	小	57	22	6	22	20	9	136
	中	63	23	13	26	12	17	154
	都	27	5	10	7	5	5	59
	計	147	50	29	55	37	31	349
百分率	小	41.9	16.2	4.4	16.2	14.7	6.6	100
	中	40.9	14.9	8.4	16.9	7.8	11	99.9
	都	45.8	8.5	16.9	11.9	8.5	8.5	100.1
	計	42.1	14.3	8.3	15.8	10.6	8.9	100

質問4

「連合会として、どのような事業に取組めば良いと考えますか。(2つまで)」

		①現職副校長の支援	②講師・ボランティア等の紹介	③児童・生徒への進学指導	④保護者との教育懇談会	⑤児童・生徒への学習支援	⑥副校長の叙勲制度の確立	⑦その他	計
回答数	小	57	33	2	4	6	12	7	121
	中	53	44	4	12	25	16	9	163
	都	22	12	7	6	11	5	9	72
	計	132	89	13	22	42	33	25	356
百分率	小	47.1	27.3	1.7	3.3	5	9.9	5.8	100
	中	32.5	27	2.5	7.4	15.3	9.8	5.5	100
	都	30.6	16.7	9.7	8.3	15.3	6.9	12.5	100
	計	37.1	25	3.7	6.2	11.8	9.3	7	100

質問5 「連合会として、会員相互の親睦のために、どのようなことを企画すると良いと思いますか。(2つまで)」

		①趣味のクラブの活動	②旅行や親睦会の開催	③健康相談の場	④相続や資金管理の相談	⑤その他	計
回答数	小	39	25	15	22	5	106
	中	50	44	37	18	8	157
	都	25	13	13	6	4	61
	計	114	82	65	46	17	324
百分率	小	36.8	23.6	14.2	20.8	4.7	100.1
	中	31.8	28	23.6	11.5	5.1	100
	都	41	21.3	21.3	9.8	6.6	100
	計	35.2	25.3	20.1	14.2	5.2	100

資料2 アンケートのお願い
会員各位

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会アンケートのお願い

令和4年8月15日
東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会
会長 前川 法久

コロナウイルス感染症拡大が続いていますが、皆様お元気のことと存じます。

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会では、小学校部会、中学校部会と、都立学校部会が連携して、教育支援活動や会員相互の親睦を深める活動が行われています。

さて、教員の65歳定年制が実施される予定となり、60歳以後の東京都公立学校副校長の身分や活動状況は、複雑となってまいりました。

そこで、今年度は、退職教頭・副校長の生きがいや不安、連合会事業や親睦の課題や問題点について、皆様からのご意見や要望をお聞きしたいという趣旨で、アンケートを実施することとなりました。

ご多忙とは存じますが、裏面のアンケートへのご協力をお願いします。

回答は、同封のハガキで8月31日までをお願いします。

アンケートに関する質問やネットで回答いただく場合は、次のアドレスをお願いします。

rymsk803@yahoo.co.jp（大河内）

電話 090-4067-8343

資料3 アンケート用紙

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会アンケート

2022.8.15

質問 1 あなたの年代は、・・・

- ① 60代 ② 70代 ③ 80代 ④ 90代

質問 2 あなたが、今、生きがいとされていることは、・・・(1つだけ)

- ① 仕事(具体的に) ② ボランティア活動(具体的に)
③ 趣味(具体的に) ④ その他(具体的に)

質問 3 あなたが、今、不安なことは、・・・(2つまで)

- ① 健康 ② 介護 ③ 相続 ④ 年金 ⑤ 仕事 ⑥ その他

質問 4 連合会として、どのような事業に取り組めば良いと考えますか。(2つまで)

- ①現職副校長の支援 ②講師・ボランティア等の紹介
③児童・生徒への進学指導 ④保護者との教育懇談会
⑤児童・生徒への学習支援 ⑥副校長の叙勲制度の確立
⑦その他

質問 5 連合会として、会員相互の親睦のために、どのようなことを企画すると良いと思いますか。(2つまで)

- ①趣味のクラブの活動 ②旅行や親睦会の開催
③健康相談の場 ④相続や資金管理の相談
⑤その他

質問 6 連合会への要望や意見

以上、ありがとうございました。

回答は、同封のハガキで8月31日までをお願いします。

アンケートに関する質問やネットで回答いただく場合は、次のアドレスをお願いします。

rymsk803@yahoo.co.jp（大河内）

公退教連 第401号

令和4年12月20日

東京都教育委員会

教育長 浜 佳葉子 様

東京都立学校退職教頭・副校長会連合会

会長 前川 法久

東京都立小学校退職教頭・副校長会

東京都立中学校退職教頭・副校長会

東京都立学校退職教頭・副校長会

要 請 書

私たちは、現職時「学校運営の要」として多くの教育課題に取り組み、貴教育委員会のご指導やご支援を得てその職責を果たし、学校教育の充実に努めて参りました。また、退職後も次代を担う子どもたちの教育について、それぞれの立場で関わり東京都の教育のために尽力しております。

つきましては、私たちの現職時の努力を認めていただくとともに、以下の要望事項についてご高配を賜りますよう、よろしく申し上げます。

要 望 事 項

1. 退職した教頭・副校長への処遇について

- (1) 退職した教頭・副校長への学校教育支援活動の要望が増えつつあります。退職教頭・副校長の活用並びに役職に見合う処遇の改善をお願いします。
- (2) 退職教頭・副校長は、学校運営の最前線で努力し、教員の教科指導などについて指導しています。さらに退職教頭・副校長会では、進路指導や保護者との教育懇談会など教育支援の活動を行っています。各学校との連携にご理解をお願いします。
- (3) 生存者叙勲の推進、並びに死亡者叙勲の復活について、お力添えをお願いします。

2. 現職にある副校長職への処遇改善について

- (1) 副校長の役職に見合う処遇の改善及び年齢層の異なる教員の指導への副校長の活用をお願いします。また、副校長の職務内容の軽減として、報告を含めた事務作業の改善、希望する学校への副校長補佐の配置をお願いします。
- (2) 講師任用の手続き等がさらに効率化されるように、特段のご配慮をお願いします。
- (3) 副校長のスキル向上のために、副校長同士の交流や研究活動の実施方法の工夫をお願いします。

3. 教育一般について

- (1) コロナ禍は、多くの困難をもたらしています。特に学力低下を防ぐ手立てとして、オンライン授業は、児童・生徒が公平に学習できるように、現在一人一台の端末機器の配布が各自治体で進んでおります。これらの取り組みが充実するためには、教職員の増員や少人数学級の実現が不可欠と思われまます。それに合わせて、最近端末機器によるトラブルも発生しています。そこで、児童・生徒はもとより、保護者へのコンピューターリテラシーの啓発をお願いします。
- (2) 教員不足が深刻となっています。魅力ある職場として学校をPRして十分な教員の確保をお願いします。
- (3) 不登校生徒への対応の充実並びに部活動等の外部指導員の充実、教育環境について、地域格差の縮小をお願いします。
- (4) 現在実践されている「働き方改革」並びに時代に対応した「LGBT教育」の推進をお願いします。

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会会則

第一章 総 則

第 1 条 本会は東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会という
所在地を会長宅に置く

第 2 条 本会は東京都公立小学校・東京都公立中学校・東京都立学校退職教頭・副校長会（以下 都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会という）相互の連携を密にし併せて教育の振興に寄与することを目的とする

第 3 条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う

- 1 教育振興の為の事業
- 2 役員会が企画する事業
- 3 会員相互の親睦

第二章 会員・役員

第 4 条 本会は都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会で構成する

第 5 条 本会に次の役員を置く

- | | | | | | |
|--------|-----|-------|-------|------|---------|
| 1 会長 | 1 名 | 2 副会長 | 1 2 名 | 3 理事 | 1 2 名以上 |
| 4 事務局長 | 1 名 | 5 監事 | 3 名 | 6 顧問 | 若干名 |

第 6 条 役員を選出は次の通り行い総会の承認（多数決）をうる

- 1 会長は役員会により選出する
- 2 副会長は都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会より各4名選出する
- 3 理事は都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会より各4名以上選出する
- 4 事務局長は会長が委嘱する
- 5 監事は都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会より各1名を選出する
- 6 顧問は役員会の推薦による

第 7 条 会長は会務を統括し本会を代表する 副会長は会長を補佐し会長事故ある時はその職務を代行する

第 8 条 理事は 1 庶務 2 企画 3 会計 の業務を行う 各担当者は会長が委嘱する

第 9 条 事務局長は本会運営に関する事項を整理し役員等の任務を補佐する

第 10 条 監事は本会の経理を監査する

第 11 条 役員任期は2年とする ただし再任を妨げない
任期途中での選出の場合は前任者の残任期間とする

第 12 条 顧問は必要に応じて本会の諮問を受ける

第三章 会 議

第 13 条 本会の会議は総会・役員会とし会長がこれを招集する

第 14 条 総会は会則の変更（多数決） 役員及び予算・決算の承認（多数決） 事業・企画などの重要事項を審議する

第 15 条 役員会は必要に応じて開き会務について協議する

第四章 会 計

第 16 条 本会の会計は分担金及び寄付金その他をもって充てる

第 17 条 本会の会計年度は毎年4月1日から始まり3月末日に終わる

第五章 付 則

第 18 条 本会則は昭和62年7月17日<<設定年月日>>より施行する

改正	平成 6 年	6 月 1 8 日
改正	平成 1 2 年	6 月 2 4 日
改正	平成 1 6 年	6 月 2 3 日
改正	平成 1 7 年	6 月 2 2 日
改正	平成 1 8 年 1 0 月	6 日
改正	令和 4 年	6 月 2 1 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会教育振興事業選考委員会規程

(目的)

第1条 この要項は、公益財団法人日本教育公務員弘済会が行う各種団体・個人等に対する貸与・給付奨学金、助成金及び奨励金等教育振興事業の適正な選考を図るため、その機関として教育振興事業選考委員会(以下「委員会」という。)を設置し、その適正な執行を図ることを目的とする。

(役割)

第2条 委員会は、実施する教育振興事業の適正な選考を図るため、必要な事項を審議し、その結果を支部長に報告する。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び専門家を含む委員若干名をもって組織する。

- 1 委員長(学識経験者・学者文化人)、副委員長及び委員は、専門家、育関係者(校長会など団体出身者)等から支部長が委嘱し、任期は1期2年、通算4期8年までとする。

(委員長の職務)

- 1 委員長は、委員会を招集し、会務を掌理する。
- 2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。

(会議)

- 1 委員会は、委員の過半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。
- 3 前項の議事について、特別の利害関係を有する選考委員は議決に加わることができない。
- 4 会議は、出席委員の過半数の議決により非公開とすることができる。
- 5 前項により非公開とした場合は、選考過程、採否の理由等も非公開とする。

(意見の聴取)

第6条 委員会は教育振興事業の適正化を図るため必要があると認めるときは、担当責任者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(議事録)

- 1 委員会の選考過程、結果等については、議事録を作成する。
- 2 議事録等には、選考委員長が記名押印するものとする。

(選考結果の公表)

第8条 選考結果は、ホームページ等で公表する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

平成21年5月14日 制定施行
平成24年4月1日 改正施行
平成27年6月5日 改正施行
平成31年4月1日 改正施行

なお、改正施行日時点で任期が8年を超えている委員については、2020年度末までに終了とします。

(公財) 日本教育公務員弘済会東京支部教育振興事業選考委員会について

当会における教育振興事業選考委員会の概要は以下の通りです。

〈選考委員会の構成〉

- 1. 学識経験者 1名
- 2. 退職校長会より 2名(異なる校種から)
- 3. 退職教頭・副校長会連合会より 2名(異なる校種から)
- 4. 支部長が推薦する者

〈選考委員の役割〉

○弘済会の公益事業について以下の選考等を行う

- 1. 奨学金貸与・給付候補者の決定等
- 2. 一般研究助成金交付候補者の決定等
- 3. 団体研究助成候補者の決定等
- 4. 研究助成奨励金候補者の決定等
- 5. 教育文化奨励金候補者の決定等
- 6. へき地学校支援事業候補者の決定等
- 7. その他、公益事業に係る助成の決定等

2022年度教育振興事業選考委員会 選考委員推薦名簿

貴団体名 東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会

貴会での役職名	氏名	最終勤務校	職名
小学校 庶務	豊田 英昭	北区柳田小学校	副校長
都立学校 副会長	大河内 保雪	都立松原高等学校	副校長

* 弘済会からの委嘱期限に合わせて検討する。

令和4年度連合会役員名簿

顧問	氏名
小学校	野沢 宏治
中学校	山浦 朝日
都立学校	岡田 光好
連合会 会長	令和4・5年 度は都立学校
都立学校	前川 法久
副会長	各部会4名
小学校	高松 泉
小学校	大谷 明
小学校	須山 道雄
小学校	
中学校	相原 一矢
中学校	西川 順
中学校	松島 健治
中学校	小出 統英
都立学校	前迫美智子
都立学校	平田 晃
都立学校	針馬 利行
都立学校	大河内保雪

理事	各部会4名以上
小学校	岩本 美枝
小学校	大西 規子
小学校	
小学校	
中学校	大西 幸江
中学校	飛弾 静子
中学校	福岡 健
中学校	和田 俊彦
都立学校	長田 真一
都立学校	小川 達夫
都立学校	堀江 徹
都立学校	湯澤 賢兒
監事	各部会1名
小学校	森部 治行
中学校	山口 敬子
都立学校	松田 輝美
選考委員	2部会各1名
小学校庶務	豊田 英昭
都立学校	大河内保雪

編集後記

今年度は、未だコロナ禍が終息していないとはいえ、中断していた都教委への本会からの要請が実現できたことは、何よりの成果です。

多忙の中、都教委側12名の参加をいただき、本会の要請事項に対して都教委の意向が伺え、その努力を理解できました。一方、その実施の効果が見えにくかったのが残念でした。

実施の効果を高めるために、本会として①要請事項の具体化②それに関連した本会の具体的な活動③そのための小・中・高の本会会員の切実に捉える具体的な課題が求められていると思います。

今年度も本会のアンケートを実施し、「会員相互のコミュニケーションを深め、教育現場の支援を盛んにする」など本会への活動に対して強い要望が多数寄せられており、これらのアンケートの結果を活かし、上記の都教委への要請事項を進化・深化できる資源になるものと確信します。

例えば、教育現場の支援として、「現職副校長の支援」の要望が退職副校長から強くあり、併せて現職副校長へのアンケートや交流を広げ、具体的課題とその解決に向けた要望事項の深化を図ることが必要と考えられます。

コロナ禍による教育界に留まらない悲鳴と困難、ウクライナでの悲惨と悲劇、北朝鮮からの挑発・・・、今年度、国内情勢および国際情勢は未だ明るい解決と展望が見出せません。

一方、目を転じると、囲碁界、将棋界、スポーツ界での、我が国の若者の活躍には素晴らしいものがあります。これらの世界では、本人の天分と努力はさりながら、それを見出し育てた周りのリーダーによる教育が重大です。

” 学ぶとは誠実をこころに刻むこと、教えるとは希望を語ること ”

日々、教育に関わるにあたって、幼児・児童・生徒・学生が学ぶことを通して、誠実（真の価値・善）を体得し、教えることを通して、希望（他者との共存・幸福）を持つことが大切ととらえます。



東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会

会長 前川 法久

事務所 〒183-0053 東京都府中市天神町 2-13-7

TEL：042-363-7673

印刷 都中退教事務局

編集 平田 晃